

若者に部屋を提供し
京田辺の良さをしってもらおう
京田辺ソリデール説明会



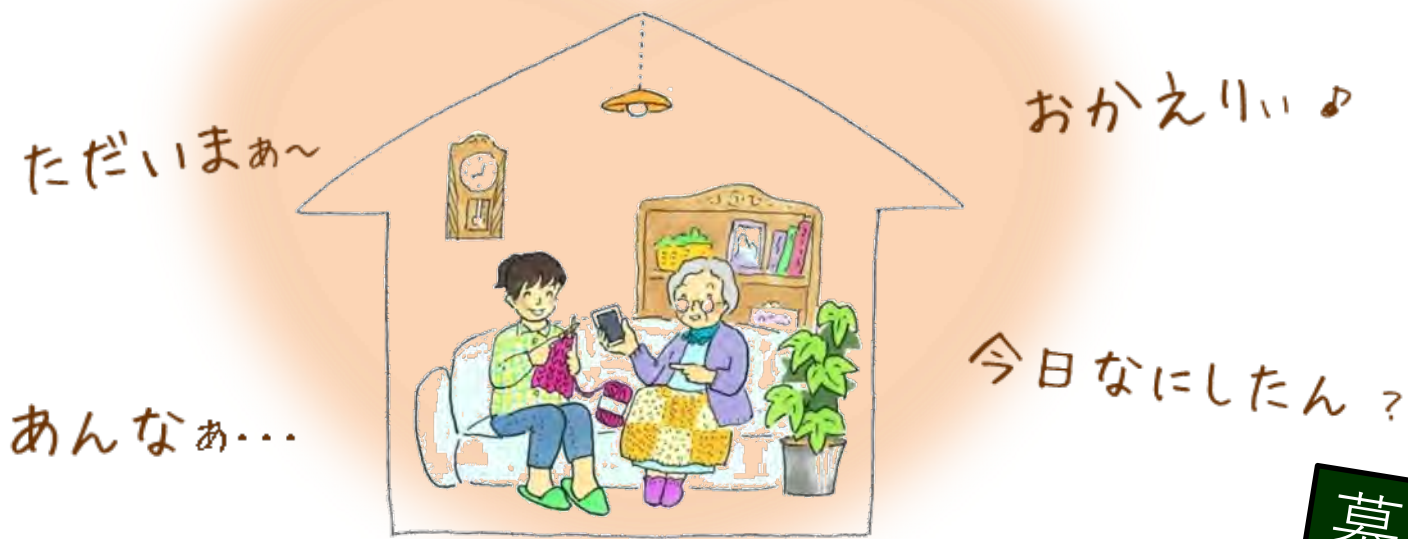
京田辺市

出会いとくらしサポートします

KYOTANABE CITY ◀便利でええやん!京田辺▶

なつかしくて
あたらしい

「次世代下宿」



アクティブシニアのみなさま！

次世代下宿（京都ソリデール）しませんか

募集中

京都府建設交通部住宅課 TEL075-414-5358

次世代下宿事業とは

高齢者が自宅(戸建て・所有)の空き室を活用して
気の合う大学生へ低廉な居住費負担(家賃等)で提供し
高齢者と大学生が同居・交流する、縁のある住まい方

あいさつ

リビング

TV

趣味

地蔵盆

交流

- 以前は京都でも多く見られた「下宿」のような住まい方
 - ・朝夕のあいさつや、リビングでともに時間を過ごしたり
 - ・共通の趣味を楽しんだり、地蔵盆など地域のイベントと一緒に参加したり
 - ・大学生と京都の高齢者や地域との交流を大切に

丁寧なマッチング

食事の提供不要

同居中のフォロー

- 「下宿」との違いは
 - ・同居の合意(ルール決め等)までに面談や交流会(お試し同居をすることも)
 - ・高齢者が収益を目的としていない。食事の提供をしなくても良い(提供も可)
 - ・マッチング事業者が存在(遠慮や理解不足に陥りやすいポイントをカバー

同居者の声

○安心感(相互に、ゆるやかな見守り)

夜の安心感、台風・地震時の安心感、何かあったとき

○生活の張り(程よい緊張感)

生活のリズム、リビングでの姿勢、整理整頓

○文化や知識の交流

高齢者と若者相互に、京都の文化・風習とその逆も

○ちょっとしたお願いができる(お互い様の関係)

高所の作業、重い物の作業、風邪の時など

○その他

気持ちが若返る、高齢者の気持ちがわかる

希望者・同居の実績(H28～H30)

	H28	H29	H30(集計中)
希望高齢者	1 1 世帯	2 2 世帯	3 2 世帯
希望大学生等	1 7 人	3 0 人	3 1 人
同居(うち新規同居)	4 組(4)	8 組(4)	1 7 組(13)

□同居者 大学生等 女子13人、男子8人

京都2名、京都工芸繊維3名、府立2名、福知山公立2名、大谷1名、京都産業1名、
京都精華1名、同志社2名、同志社女子1名、佛教1名、立命館2名 等

高齢者 女性11世帯、夫婦9世帯、男性1世帯(延べ)

□成立状況 家賃等は2.5万円～(光熱費込等)

中には食事を提供される高齢者も(食費別)

同居事例(交流が少ない事例)

ひとつ屋根の下でプライバシー等を互いに尊重しつつ、それぞれ自立した生活(食事の提供はなしなど)。起床・就寝等の時間が異なるため、気配があれば「ってきます」「ただいま」。サッカーのワールドカップのテレビを一緒に見たり、たまに食事を一緒に食べることも。帰省や旅行のお土産や頂き物のお裾分けなども。

同居事例（交流が多い事例）



上京区の高齢者男性（Iさん）と、京都府立大の女子（Yさん）は、数回の交流会を経て、同居を開始。Iさんの国際交流NGO代表としての活動の経験談を友達と聞いたり、週に一度、Yさんのチャレンジ料理と一緒に食べたり、縁のある暮らしを楽しんでおられます。



2018.2.21
読売テレビ
「ニュースten」



北区の高齢者ご夫婦（Mさん元デザイナー）と、京都工繊大の男子（Oくん）は交流会で知り合い、お試し同居を経て、同居を開始。近所の方々と交流したり、大学のデザイン課題を一緒に考えたりと、以前から一緒に暮らしておられるかのようです。



2018.8.1
NHK
「おはよう関西」



左京区の高齢者女性（Kさん）と、早稲田大から同志社大に交換留学生として通学の女子（Tさん）は、一度の面談で、同居を決意し、同居を開始。一緒に駅伝の応援をしたり、地域で開催されるイベントにスタッフとして参加したりと、一人暮らしではできない京都での暮らしを体験。



2018.3.1
KBS京都テレビ
「おやかまっさん」

普及・推進

マッチング

同居・交流

大学等

情報



相談

広報



協力



京田辺市

連携



広報



協力

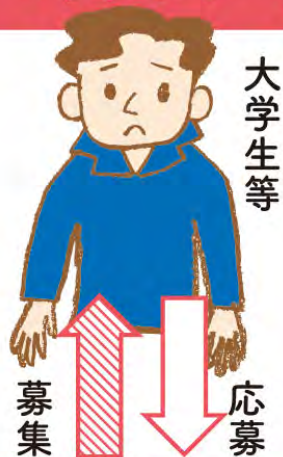


高齢者
団体等

情報



相談



大学生等

募集



応募

マッチング
事業者

アフターケア



相談



募集・登録



応募



大学生等

空室提供



居住費負担



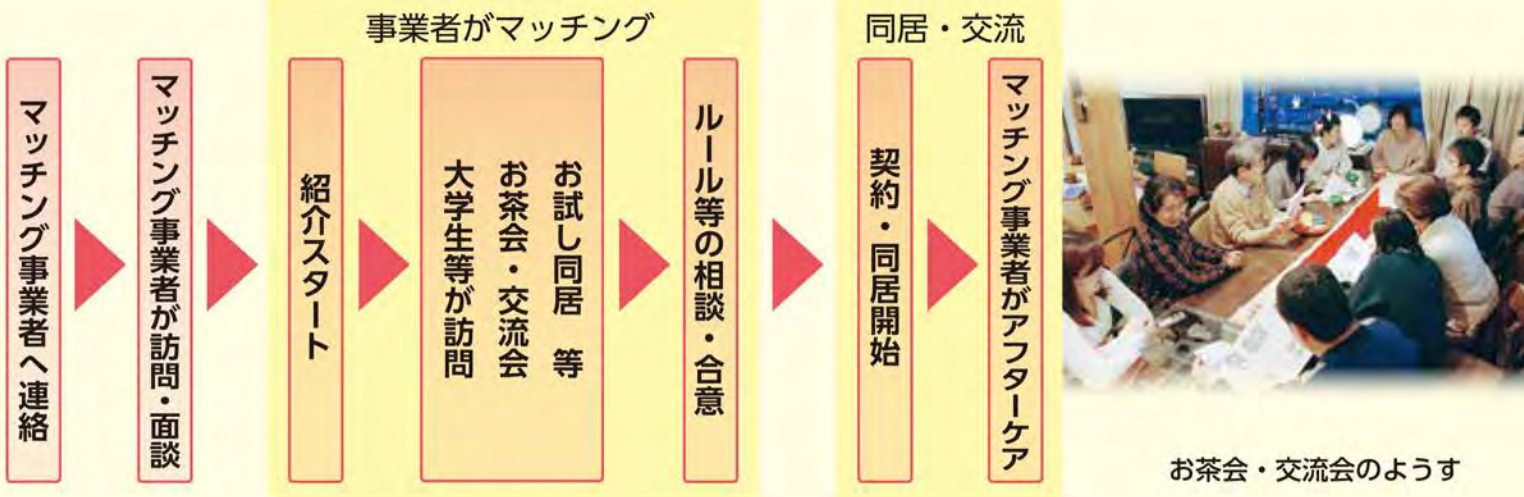
高齢者

ともずみ
マッチング事業者が出会い・暮らし(共住)をサポートします

マッチングの流れ

府から業務を受託したマッチング事業者が高齢者・大学生の希望をお聞きし、交流会や個別面談、短期間のお試し同居など丁寧にマッチング

手続き等の流れ(例)



交流会の様子



同居合意・契約の様子

最初のマッチング

学生の街・京都で、下宿を探す大学生と、自宅に空き部屋がある高齢者を仲介する取り組みが始まった。京都府の事業で、大学生は経済的な負担が抑えられ、高齢者には生活の張りや安心感が得られるメリットがある。東京などでも実施されており、高齢世帯が増えるなか、新たな下宿の形として関心を集めている。

高齢者

京都市北区の水野良樹さん(68)、美代子さん(71)夫婦の家では年明けから、京都下宿センター大一年の岡本和

京都府が仲介事業



仲良く夕食を取る岡本和樹さん(右)と水野美代子さん(京都市北区で)＝古野拓也撮影

哉さん(19)が
はたいいてい
日の関係を
む。製品を
していた美
て、大学で
岡本さんに
ことも楽し
岡本さんは
山市の実家
けて京都市
通っていた
考えたが、
かる」と断
年秋に募集
代下宿事業
えられた。
家賃や生活
し合って決
の場合、家
00円。夕
3人分も一
さんが用
自転車通
さんは「陸
れ、勉強に
域の人たち
新たな経験
る」と満足
が東京とい
「孫と暮ら

お試し同居

- 3日でわかること
- 一週間でわかること
- 一か月でわかること
- 一年でわかること

同居してみないとわからないこと



サポートの必要性

高齢者の気持ち・事情

- 高い社会貢献意識
- しかし、自己負担してまで支援できる余裕のある人は少ない
- 自分の住んでいる地域で役割を持つ

学生の事情・実態


- 経済的には決して楽ではない
- 遠距離通学の事情
- 「高齢者」から見た現代学生気質

高齢者と若者が一緒に住むために

- 適度な「距離」感
- 言いにくいこと、困った時に相談できるサポーター
- →マッチング・サポート事業者の役割

私たちがサポートします！

マッチングから同居後アフターケアまで。まずは、気軽にご相談ください。

事業者名称	京都高齢者生活協同組合くらしコープ (略称:くらしコープ)	代表者氏名	理事長 水口武夫	
事務所所在地	〒603-8232 京都府京都市北区紫野東野町1番地5			
TEL	075-432-3636	FAX	075-451-6350	
E-mail	tomo@kyoto-koureisya-seikyo.or.jp	HP	http://kyoto-koureikyo.jp/tomozumi/	
事業者紹介	高齢者が安心して住み続けられる住まいや地域づくりに取り組んでいます。介護事業を通じて得られた知見を社会に発信しながら、対人援助や組合員同士の互助共助を通じて誰もが住みやすい社会づくりをめざす生活協同組合です。			
サービス内容	高齢者と若者の「共住(ともずみ)」に関心のあるみなさんが出会い、語り合う「共住カフェ」の開催／「共住」を希望される方との面談の調整／「お試し同居」のサポート／「共住」するためのお互いの意思や条件を確認する契約のお手伝い／すでに「共住」されている方の経験などについての情報提供／ご自宅改修のご相談・・・ ご希望に応じてさまざまなサポートをします。			
ひとことメッセージ	平成28年度からの京都市内での経験を生かし、平成29年度から宇治市、長岡京市・向日市・大山崎町にも「共住」マッチングに取り組めます。一人暮らしはちょっと淋しいと思われたら気軽にご連絡ください。一緒に新しい住まい方を探しにいきましょう。私たちはそのナビゲーターを務めさせていただきます。			

「くらしコープ」のスローガン

- 寝たきりにならない、しない
- ひとりぼっちの高齢者をなくそう
- 元気な高齢者はもっと元気に
- 支えられる存在から社会を支える存在へ

「学生の街」京田辺

お試し同居新下宿

「学生の街」として知られる京田辺市が、学生と高齢者が同居する次世代型下宿「ソリデール」の推進に新年度から乗り出す。同様に学生が多い京都市内と違い、京田辺市内には離れがある家が多いなど住環境に恵まれている点にも注目。市は「学生は家賃の負担を抑えられ、高齢者は張り合いや家賃収入が得られる」と双方のメリットを強調して拡大を目指す。

ソリデールは、空き部屋がある高齢者宅に学生が住むことで交流を図る。入居前に茶話会などを行うのが下宿との違い。京都府が16年度から力を入れてきたが、京田辺市は事業の対象エリア外だった。

京田辺市内には、同志社大と同志社女子大の両キャンパスに約1万人が通う一方、家族の独立などで空き部屋がある高齢者も多いとみられることから、市は「潜

京田辺市が目指すソリデールのイメージ



安い家賃で、通学も楽になる…

にぎやかになるし、空き部屋も活用できるわ…

市が推進へ 高齢者宅の空き部屋 着目

在的なニーズは大きい」と判断。市単独での実施に向け、現在は学生や高齢者への意向調査を進めている。

20年度は本格実施に向けた制度設計を行い、受け入れる住宅の改修費や学生の家賃の補助制度も検討する。同居の試験実施も視野に入れている。

市は学生の家賃を3万円程度と想定。遠距離通学をする学生らの負担軽減につながるほか、「京田辺市の魅力を知ってもらい、卒業後も住み続けるきっかけになれば」と期待する。

新制度では、学生と交流を求める人から、一定の距離を置きたい人まで幅広い受け入れ側の希望に沿えるように事前の交流会を重視する方針。市開発指導課は「下宿と言えは食事がセットになるイメージもあったが、住まい方はそれぞれで決めてもらえばいい。同居後のサポートも充実させていきたい」としている。同課0774(64)134(高橋道長)

ソリデール 「連帯の」を意味するフランス語。先行する府事業では、交流会や1週間程度のお試し同居などを経て、生活のルールを決める。これまでに京都市や府北部を中心に28組の同居が実現している。